

※ 校舎イメージ図



令和5年4月開校予定

香川県立 小豆島みんなの支援学校

【所在地】

小豆郡小豆島町池田 1789 番地

(小豆島町立池田小学校に隣接)

I 目指す学校像

○子ども一人一人が、自分らしくのびのびと学べる学校

子どもが自分の良いところや可能性に気づき自ら学ぼうとする主体的な行動を促す学習や、小豆島の豊かな自然や環境を生かした活動ができる学習環境を整えます。

○地域にしっかりと根ざし、地域とともに子どもを育てる学校

子どもたちを地域全体でしっかりと育てようという小豆地域の良さを生かし、地域社会の人たちとのふれあいや隣接する小学校、居住地校等との日常的・継続的な交流及び共同学習を大切に、社会性や豊かな人間性を育みます。

○専門性を発揮し、小豆地域の特別支援教育の拠点となる学校

小豆地域に初めて設置される特別支援学校として、専門性を活かした教育を行うとともに、小豆地域の障害のある子どもや保護者、学校等への支援にあたり、関係機関と連携しながら特別支援教育の推進を担います。

2 対象児童生徒

小豆地域（土庄町、小豆島町）在住の知的障害のある児童生徒が対象です。

➡※知的障害の程度が学校教育法施行令第22条の3に規定する者で、肢体不自由や病弱等と重複している者を含みます。

※知的障害の程度が学校教育法施行令第22条の3に規定する者とは次の通りです。
知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの
知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活への適応が著しく困難なもの

3 設置部

- ・ 小学部、中学部(小・中学校該当)を設置します。
- ・ 障害の状態から通学することが困難な児童生徒については、自宅や病院に訪問して教育を行います。
- ・ 知的障害特別支援学校高等部該当で障害の状態により島外への通学が困難な生徒の学びの機会を保障する場として、「香川県立香川中部養護学校高等部分教室」を校内に設置します。

4 各部の特徴

【共通】

- ・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づく個々の教育的なニーズに応じた教育
- ・生活や学びの質の向上につながる専門的な自立活動
- ・タブレット端末等、ICTを活用した教育
- ・子ども同士の学び合いを活かした教育

～池田小学校との日常的な交流及び共同学習(主に小学部)

居住地校との定期的な交流及び共同学習

- ・全校縦割りグループで取り組むキャリア教育（奉仕、お手伝い活動）

【小学部】

- ・アセスメント（発達検査等）に基づく発達段階に応じた教科指導
- ・主体的に活動しながら生活する力を育てる生活単元学習

【中学部】

- ・各教科で学んだことを生かして働く力を育てる作業学習、日常的な職場体験活動
- ・香川中部養護学校中学部、高等部との交流学习

5 年間主要行事予定

月	行事	月	行事
4	入学式 ☆1年生を迎える会 身体計測 定期健康診断 PTA 総会 家庭訪問	10	修学旅行 校外学習
5	☆運動会	11	☆学校祭(池小フェスタ) ☆マラソン大会 ☆ウォークラリー
6	☆なかよし班遠足	12	
7		1	
8	夏季教育相談週間(地域の幼小中学校対象)	2	入学準備説明会(小、中) ☆卒業生を送る会
9	体験入学(小学部、中学部)	3	卒業式

- ・☆印については、池田小学校と合同で行う予定です。
(R4年6月現在の予定であり、今後の状況によって変更する場合があります。)

6 日課表

【小学部】（一部学年予定）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	体育	自立活動	体育	図画工作	体育/自立活動
3	算数/自立活動	算数	国語	図画工作	国語
4	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習
	給食				
	昼休み				
	清掃				
	オリーブタイム				
5	音楽	国語/自立活動	特別活動	算数	音楽
6	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	下校時間				

【中学部】（一部学年予定）

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	音楽	特別の教科 道徳	国語	作業学習/ 生活単元学習	保健体育/自立活動
3	数学/自立活動	作業学習	保健体育	作業学習	音楽
4	国語	作業学習	生活単元学習	作業学習	数学
	給食				
	昼休み				
	清掃				
	オリーブタイム				
5	職業・家庭	生活単元学習	特別活動	理科/自立活動	美術
6	職業・家庭	生活単元学習	社会/自立活動	自立活動	美術
	下校時間				

〈小豆島みんなの支援学校は小・中学部とも 始業9:00頃 下校15:20を予定しています。〉

●知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校では、児童生徒の学校での生活を基盤として、学習や生活の流れに即して学んでいくことが効果的であるということから「各教科等を合わせた指導」を行っています。日常生活の指導、生活単元学習、作業学習などがこれにあたり、国語算数等の教科や道徳科、特別活動等を教科ごとに分けずに、これらの全部又は一部について合わせて指導することで効果を上げることができます。

【日常生活の指導】衣服の着脱、洗面、手洗い、排泄、食事、清潔など基本的生活習慣の内容や、あいさつ、言葉遣い、礼儀作法、時間を守る、きまりを守るなどの日常生活や社会生活において、習慣的に繰り返される、必要で基本的な内容を行います。

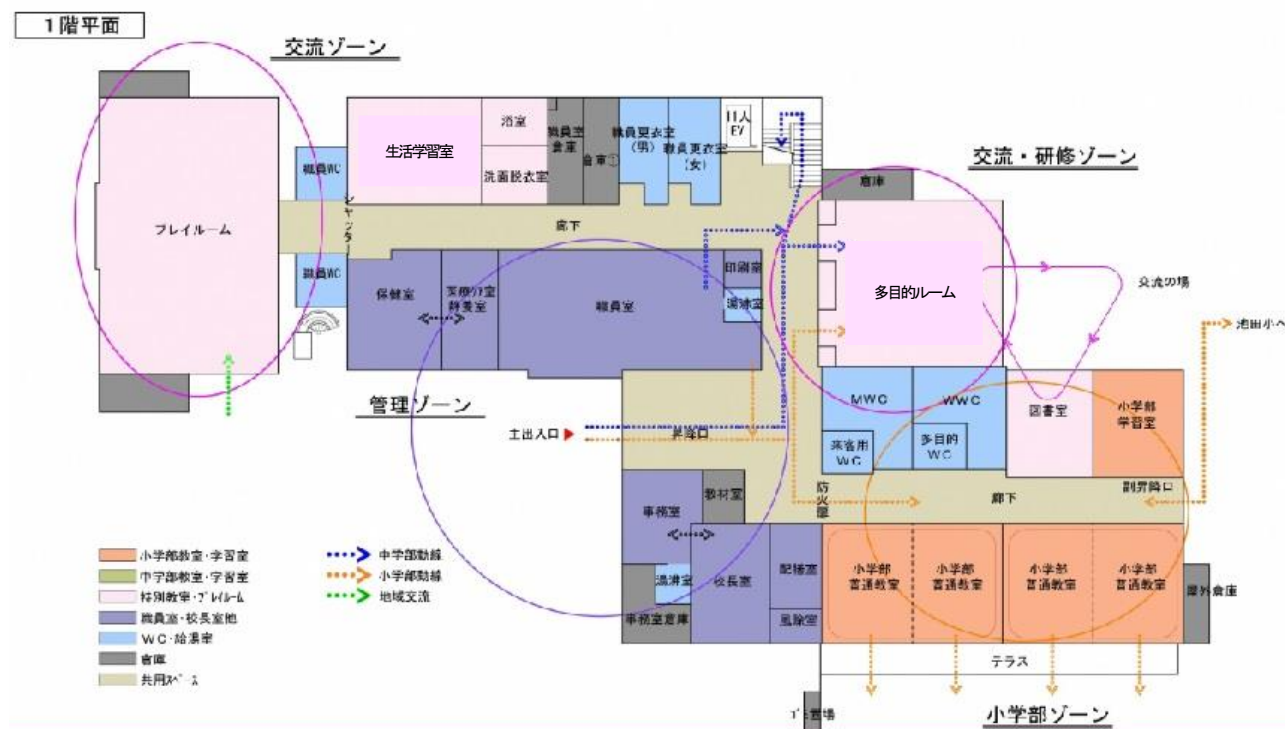
【生活単元学習】子どもが生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際の、総合的に学習するものです。実際の生活から発展し、児童生徒の知的障害の状態や生活年齢等及び興味や関心を踏まえた内容等を扱い、生活上の望ましい態度や習慣が形成され、身に付けた指導内容が現在や将来の生活に生かされるように学習します。

【作業学習】作業活動を学習活動の中心にしながら子どもの働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に扱うものです。作業学習の指導では、職業・家庭科(知的特別支援学校中学部の教科)を中心とする、各教科等の広範囲の内容が扱われます。作業学習で取り扱われる作業活動の種類は、農耕、園芸、縫製、織物、印刷、調理等の他、清掃、接客、販売等も含み、多種多様です。

●自立活動とは、「個々の幼児児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う」ための学習です。①健康の保持②心理的な安定③人間関係の形成④環境の把握⑤身体の動き⑥コミュニケーションの内容で個々の児童生徒の実態に応じて学習します。

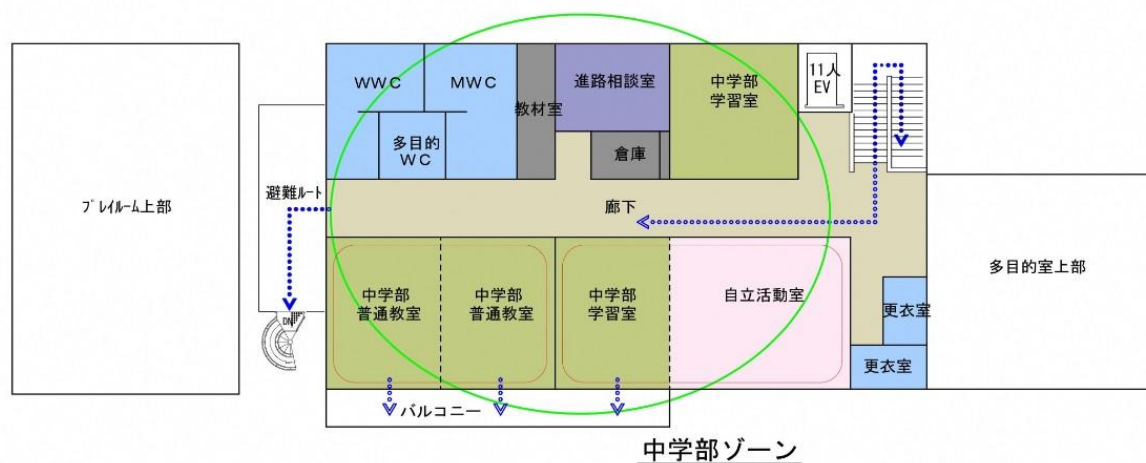
7 施設配置図

【1 階】



【2階】

2階平面



8 特徴的な施設・設備

施設名	施設の特徴
自立活動室	障害による生活上、学習上の困難を改善・克服するための学習を行います。吊り遊具などを用いた感覚統合の学習や身体の動きの学習、コミュニケーションの学習などを行います。
生活学習室	日常生活に必要なスキルを身に付ける学習を行います。調理実習室と浴室+更衣スペースで構成され、宿泊学習でも活用する予定です。
図書室	電子図書を閲覧できるタブレット端末や、みんなで電子図書等を視聴できる大型モニターを設置します。大型絵本やパネルシアターなども蔵書に加え、図書を媒介にした交流の場にしたいと考えています。
プレイルーム	ミニ体育館のスペースです。冷暖房完備で季節を問わず十分な活動が可能です。壁収納式のステージが設置されており、儀式的行事や文化的行事で活用するほか、地域への開放も計画しています。
多目的ルーム	ランチルームとして日々の給食時に使用するほか、音楽の学習、交流学習、教職員の研修など多目的に活用する予定です。天井が高く開放的な空間となっています。

9 給食

小豆島町給食センターから配送される予定です。

10 スクールバス

- ・一般的な車いすにも対応したスクールバス（ワイドバン）を2台運行します。在籍児童生徒の居住地により路線を検討します。
- ・乗降場所までは、保護者等の送迎をお願いします。

11 学校の設置場所

国土地理院「基盤地図情報」より作成



◆住所 〒761-4301 香川県小豆郡小豆島町池田 1789 番地

香川県立小豆島みんなの支援学校への就学相談・お問い合わせ先

香川県教育委員会事務局特別支援教育課小豆島みんなの支援学校開校準備室

◆TEL 087-832-3758 担当 三宅、荒井

◆ホームページ <https://www.kagawa-edu.jp/syomnsi01/>

香川県立高松養護学校小豆分室

◆TEL 0879-62-0069 担当 池上

☆本リーフレットの内容は、令和4年7月現在の情報であり、今後の状況によって変更
する場合があります。